



倉山かずゆき くらしの相談 担当者レポート Vol.10

発行日：令和3年10月27日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：鬼頭 圭介
編集者：倉山 和之
印刷所：(株)トヨタインタープライズ
共栄カパニー



■ 倉山かずゆき の主な取組み

進捗状況：100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:検討中

大分類	取組みテーマ	テーマに対する取組み内容	進捗状況
安全・安心して暮らせるまちづくり 	子どもたちが健やかに成長できる環境の整備	いじめや虐待防止として、SNSを活用した悩み相談体制の充実 	50%
	高齢者がいつまでも元気で暮らせる医療・福祉の充実	オンライン診療の拡充による、山間地域の患者等の負担軽減 	25%
	本来必要とする情報を見逃さないよう、地域別に正確な情報を発信	アプリの活用に加え、防災ラジオの普及による地区単位での避難情報の拡充 	30%
人と車が調和を図れる交通環境の整備 	交通事故撲滅に向けたAI、IoTの導入や環境整備の推進	ビッグデータを活用した歩行者保護活動の推進 	25%
	渋滞緩和やスムーズな移動を可能とする交通網・道路環境の整備	整備中の道路における着実な整備推進と接続する周辺道路の整備 	50%
環境に配慮した快適で豊かなまちづくり 	カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの推進	風力、太陽光などの再生可能エネルギーの地産地消への取組推進 	30%
	自然環境を活かした水と緑あふれるまちづくり	中央公園などの賑わいに向け、民間活力を生かした公園整備の推進 	50%



9月議会では、教育社会委員会 議案質疑・分科会での質疑に注力。
今回のレポートは、一般質問、議案と補正予算の主なものや、くらしの
相談対応事例について報告させていただきます。（事項参照）



■ 9月議会 一般質問 議案・補正予算

1. 一般質問

【テーマ】持続可能な部活動の運営体制



昨年度、文科省から中学校教員の負荷軽減として部活動改革が示された。本市は今年度、モデル4校を選定し、休日部活動を段階的に地域へ移行を進めていくなか、指導者の人材確保が課題である。

◆質問①：平日と休日の指導者が相違することで生じる課題はどのようなか

◇回答①：指導者が変わることから生じる課題として、活動方法や指導方針についての相違が予想される。生徒に混乱が生じないように、指導者が共通理解をする機会を持つために、ともに指導する準備期間を設けるなどの連携を検討していく。

◆質問②：地域人材の確保とマッチングの仕組み構築に向けた市の考えは

◇回答②：地域部活動の担い手の確保には、人材を求める団体と指導したい人材をつなげる仕組みづくりが必要であり、国の動向や学校・団体等の意向、モデル事業の状況も踏まえつつ、今後も関係団体等と連携し、適切な仕組み構築に向けた準備を進めていく。



2. 議案・補正予算

子ども・子育て支援交付金

◆幼児教育・保育の無償化の対象外施設等に通っている世帯に対し、子育て支援を実施。
要件を満たした市内外の施設に通われている方へ適用。



緑のリサイクルセンター改修工事

◆改修により刈草等の発酵処理量を現状の1.5倍に拡大
設備の更新により、たい肥による再利用を増加させ、焼却に回していた量が軽減し、CO2排出量を抑制。



3. 市のトピックス

とよたおいでんバス 高齢者向け定期券販売

◆高齢者の外出促進及びおいでんバスの利用促進のため、とよたおいでんバスで利用可能な高齢者向け定期券「おでかけバス70」を販売。

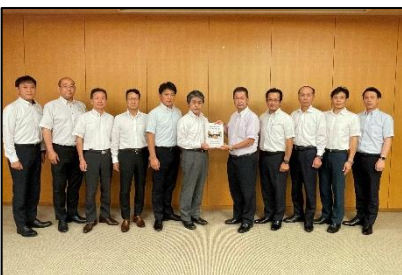


- 対象者
70歳以上の豊田市内在住者※購入証申請時点
- 対象路線
とよたおいでんバス全12路線※地域バス、名鉄バスは対象外
- 販売金額
1か月：3,000円 2か月：5,500円 3か月：8,000円
- 購入方法（手順）
①購入証の発行申請をおこなう
②市から購入証が送付される
③購入証を持参し販売所で、定期券を購入

詳細はQRコードから



■ 政策要望提出



8月19日、市民フォーラム会派の政策を市長へ提出し、組合員皆さんの声から、安心して暮らせるまちづくりへの取組みを要望しました！

■ くらしの相談内容

【現状】

上郷町高根下の市道上において雨天時に水溜りができることにより、車の通行で水が撥ね、登下校中の生徒に掛かる。



車の走行で水が撥ねる



【対策】

市の道路維持課および東海農政局へ道路上の窪み箇所の修正を依頼し、部分補修により水溜りが解消されました。

補修により水溜り解消



くらしの相談者は皆様の身近な存在として、どんな小さなご意見にも耳を傾けます！